

日本応用地質学会「東日本大震災特別委員会」

6月1日 委員会幹事長：中筋章人

5月19日の日本応用地質学会理事会で、「東日本大震災特別委員会」の設立が認められ、以下に示す要領で活動を開始することになりました。関連学会でも多くの震災委員会が活動しつつありますが、本学会は、あくまで応用地質学に根ざした、応用地質学的な視点で災害の分析を行なうことを目的といたします。つきましては、会員各位の積極的な参加とご協力をお願いいたします。

1．東日本大震災特別委員会設立の主旨

東日本大震災に対して日本応用地質学会は、会員の技術力を結集して様々な情報収集と調査を行い、本学会の特徴を生かした社会貢献活動として「東日本大震災特別委員会」を立ち上げ、情報発信を行うことといたしました。さらに、得られた成果を取りまとめて公開するとともに、きたるべく東南海・南海地震などの地震災害に備えるべく、学会からの提言を発信することを目指します。

2．特別委員会の活動期間

第一期として、平成23年6月から平成25年5月までの2年間とします。

3．成果の公表

特別委員会に災害種別の担当者を定めておき、委員自ら得た情報、あるいは会員から寄せられた情報を、震災対応のブログ・掲示板・学会HPや会誌を通じて随時配信（報告）することとします。

4．特別委員会の体制

委員長：千木良雅弘（京大防災研）

副委員長：橋本修一（東北開発コンサルタント）

幹事長：中筋章人（国際航業）

情報管理委員：長田昌彦（埼玉大）、高橋努（八千代エンジニアリング）ほか

土砂災害等現地災害情報委員：高見智之（国際航業・東北）、小林俊樹（復建技術コンサル）ほか

津波災害委員：原口強（大阪市立大）、三嶋昭二（応用地質・東北）ほか

液状化災害委員：脇坂安彦（土木研究所）、中曽根茂樹（日本工営）ほか

震災廃棄物委員：大野博之（環境地質）、宮脇健太郎（明星大学）、山中稔（香川大学）、陳友晴（京都大学）ほか

地震断層委員：佐々木靖人（土木研究所）、黒澤英樹（応用地質）ほか

5．その他

2年間の活動成果は、学会誌「応用地質」の特別号とかシンポジウムの予稿集としてとりまとめることを考えています。

参考資料:

日本応用地質学会・大震災対策情報掲示板

このたびの東北地方太平洋沖地震につきまして、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

理事会からのお願い 各種災害調査に際して

理事会 2011/04/27 17:18 拡大日本応用地質学会理事会は、現在「震災対応特別委員会」を組織しております。現段階では、この特別委員会から直接調査団等を派遣しないことにしておりますが、会員の皆様におかれましては、個々に調査を実施したり、他学会との共同調査を実施されたりしておられることと思います。特別委員会では、このような皆様の活動を把握し、今後の調査支援活動計画に役立てていきたいと考えております。また会員間での情報交換が図れることも期待しております。

つきましては、現地に入られる機会がありましたら、下記の方法にて特別委員会まで是非ご一報ください。

連絡内容

連絡者名とご所属、大まかな調査日程、調査箇所、調査メンバーなど

連絡方法

- 1：掲示板の利用 <http://jseg-eq.board.cocan.jp/>
- 2：ブログの利用 <http://jseg.cocolog-nifty.com/blog/>
- 3：学会事務局へのメールまたは fax

なお、方法1、2につきましては、直接アドレスをご入力いただいでご利用いただけるほか、学会ホームページ（東北地方太平洋沖地震 関連情報）からもアクセスすることができます。

また掲示板・ブログともに、携帯電話からもご利用いただけます。ホームページに添付しましたバーコードを携帯電話にて読み込んで頂ければ、上記のブログ・アドレスを入力する手間が省けます。入力は、記事の下にあります”コメント”をクリックすることで、必要事項を記入できます。

特別委員会では、随時調査結果をホームページ上や学会誌上で公開していきますので、皆様には是非ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。